

11月

薬事委員会のご挨拶・ご案内

糖尿病・内分泌内科部長(薬事委員長) **村上 史峰**



私は、この度角谷新院長就任に伴い、組織改造として薬事委員会委員長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

薬剤は、投与されると速やかに体内外において薬としての作用（薬理作用）を発揮します。病気の治療薬以外にも診断薬などもあり、治療対象となる臓器が多種多様であるように、薬剤も多種多様で非常に数が多く、毎年のように新薬が上市（販売）され、最近では「ジェネリック」や「バイオシミラー」などの従来品と同効ながら低価格に抑えられ経済的負担に配慮された薬剤が登場しています。

労災病院において、この様な多数薬剤の検討をおこなうのが、薬事委員会の任務の1つです。例えば新薬採用にあたり、実質的有効性の検討は、専門性が高く、各医師の学識に寄らざるを得ません（薬の効能は専門医が良く知る）。しかし、採用プロセスの透明化など「手続的適切性・妥当性」担保の要請から、当委員会が業務を担います。手続的適切性の担保は、安全安心な処方の実現を通じ、患者さんの健康増進、疾病回復促進に寄与できるものと考えます。

さらに、実務のかなめである、病院薬剤部と連携し、現に使用中の薬剤の副作用でも医薬品医療機器総合機構（PMDA）に報告を要するレベルのもの把握により、医療安全（患者さんの身体生命を守る）や、在庫・ジェネリック採用率の監視（経営改善）、他部署と協働し臨床倫理的に正しい薬剤関連業務の調整、新しいところでは、コロナ禍やウクライナ＝ロシア戦争による国際的な商品（原薬）流通混乱、国内ジェネリック製造不正と適正化による混乱、物価高騰などの影響から、都度、ジェネリック採用先変更の承認などにも関わっています。

また、近年話題のポリファーマシー（多剤併用）についても、薬事委員会の分科会的立場から、ポリファーマシー対策チーム検討会メンバーとして参加しています。実際の入院中、各患者さんの処方状況を把握し、「薬が多すぎないか、他院の処方と重複していないか、相互作用で副作用を起こしていないか」などの検討を行い、薬剤師を通じて処方医へフィードバックを行うなどしています。

富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：11月1日～11月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) 地域包括ケアシステムのお話し～当院は面倒見のいい病院を目指しています～」

(出演者) 病院長 角谷 直孝



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ

絶賛
放送中



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>